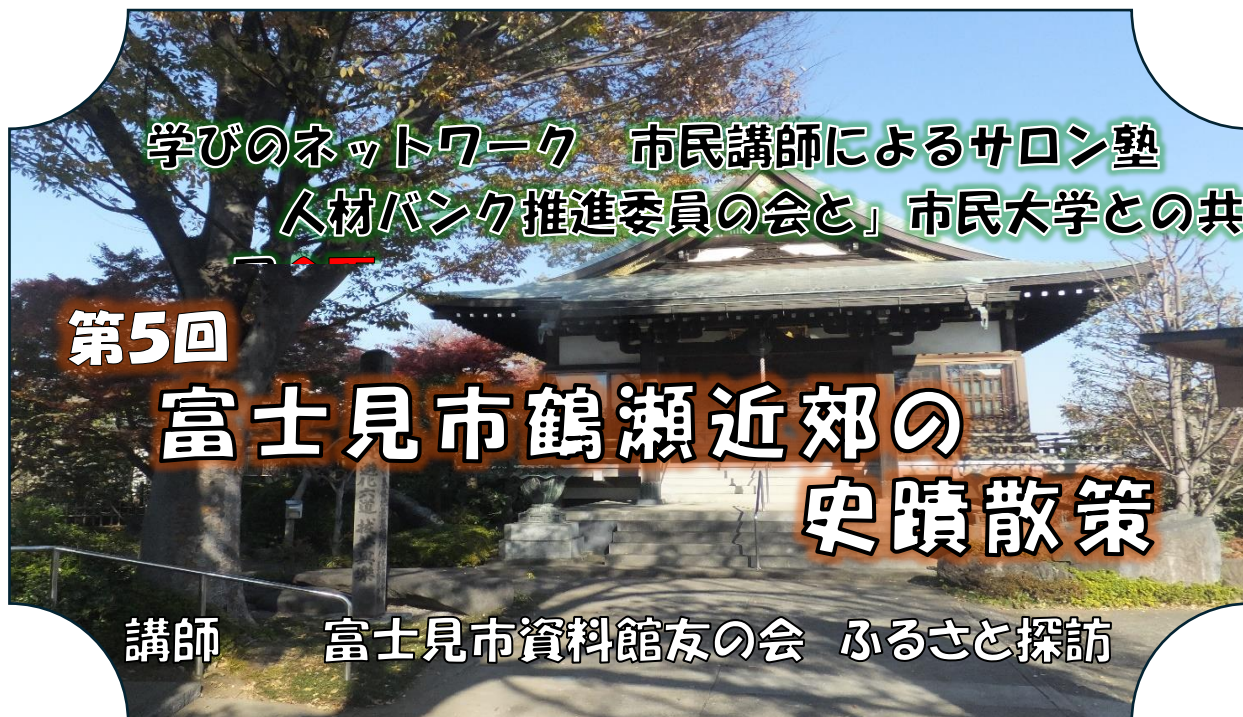




事前打ち合わせで、行程表に従って行くとかなり時間がかかるので集合場所を谷津の森公園にしたいと申し出がありました。

今回も「コースの見どころ」を資料として配布をしてもらえました。

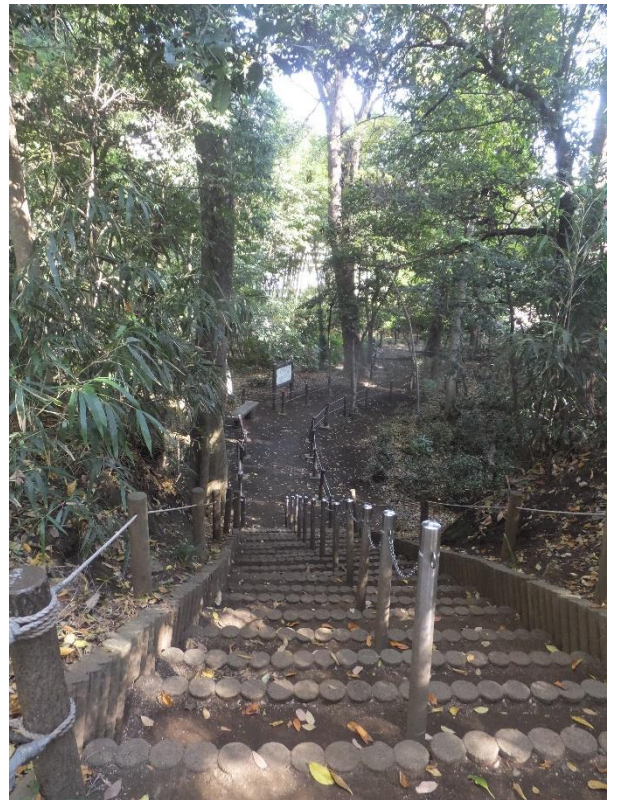
日 時	11月13日（月） 13時30分～15時30分
集合場所	谷津の森公園
講 師	富士見市資料館友の会 ふるさと探訪会
受 講 生	10名



① 谷津の森公園

藤棚や東屋があり、憩いの場所としておなじみです。階段下には湧き水があり竹林と鬱蒼とした緑が調和した木陰を作っている。





② 下鶴馬氷川神社

祭神は須佐之男尊。神社に隣接する横田家屋敷林は県の「ふるさとの森」に指定されていました。現在は条例改正により指定解除。
横田家は村名主で、蔵には古文書が収蔵されていた。



③ 来迎寺

西雲山光明院来迎寺といい、天台宗です。本尊は阿弥陀如来像です。境内には六地藏、女人講中60人で享保8年（1723年）に建立した延命地蔵があります。来迎寺の横山住職には毎回、写経・講和でサロン塾においでいただいています。受講生が楽しみにしています。

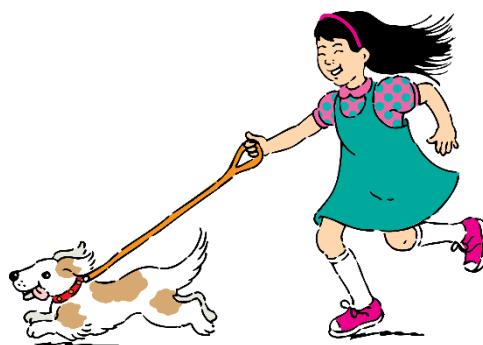
明治6年（1873年）には、近隣の村と共同で設立し市内で初めての小学校が開設されました。



④ 来迎寺の泉

来迎寺の南側斜面から流れる湧き水の1つ、「来迎の泉」の銘板があるところは平成の造成で発見された。水量はほかの箇所の数倍はあります。

来迎寺を回り込むようにして湧き水の流れをたどると水量の多い箇所で開けたところがありました。大御庵と標識があり、水車小屋があつたと説明がありました。そして石段を上ると「しりったれ坂」に出た。市内には多くの坂があり、その1つ。以前、水車小屋に精米してもらいに運ぶのはつらく厳しい仕事だったのでは。ここで私たちもほっと一息。



⑤ 延宝の庚申塔

延宝2年（1674年）造立。富士見台中の一帯は殿山といわれていた。この庚申塔は台地・低地に斜面の雑木林の中にあつたが宅地開発で、道路沿いの脇に移された。思いがけず権平川が側に流れており、以前は湿地帯にあり「陰波の庚申塔」と呼ばれていた。

⑥ 諏訪神社

通称「おすわさま」創建は不詳ですが、元禄5年（1692年）再建の棟札が現存し、それより古いことがわかる。渡戸の獅子舞16世紀後半で500年以前に伝来。ご神木の大欅は市指定天然記念物に指定。

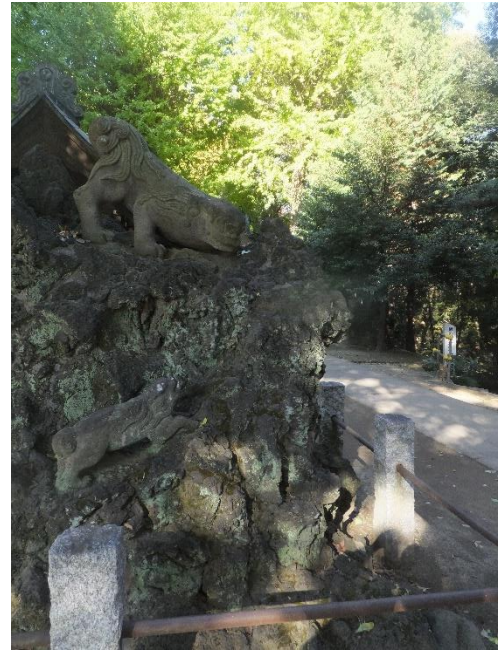
⑦ 上鶴馬氷川神社

祭神は須佐之男命。明治5年（1872年）に鶴馬村の村社に指定。明治41年（1908年）には地域にあった稲荷社や雷電社などを境内に合祀しました。小さな社が並んでいます。

⑧ 雲居の滝

上鶴馬神社には2か所の湧き水があり、湧水量は市内でも指折りといわれています。雲居の滝は滝つぼを地中に3mほど掘り下げて作った人工滝です。水源は後ろに続く弁財天の池です。中の島の祠には人頭蛇身の珍しい姿の弁財天が祭られていました。ただし2019年に盗難でなくなりました。
まつる





報告 加藤久美子